

特集/新ごみ処理施設

新しいごみ処理施設が スタートします!

平成28年4月 四日市市クリーンセンターが稼働

四日市市クリーンセンター外観

平成28年4月に、焼却施設と破碎処理施設からなる新しい総合ごみ処理施設「四日市市クリーンセンター」が稼働します。それに伴い、ごみの処理方法やごみの出し方も変わります。私たちが生活する上で、どうしても出てしまうごみ。ごみ処理は一番身近な環境問題です。この機会に、ごみ処理について知り、私たちにできることを考えてみませんか。



溶融炉



蒸気タービン
発電機



ピット(ごみ集積場)



プラットホーム(ごみ搬入口)

最先端の機能を備え、循環型社会の形成に貢献

私たちが出したごみがどのように処理されているか、ご存じですか。

紙類やペットボトルなどは資源物として回収された後、再生事業者へ運ばれ、リサイクルされています。

生ごみなどの「もやすごみ」は、市内唯一の焼却施設である**北部清掃工場**で処理されています。この清掃工場は昭和48年から稼働しており、老朽化が進んでいます。

プラスチック類や粗大ごみなどの「もやさないごみ」は、**南部埋立処分場**で埋め立てられています。この処分場は昭和54年から稼働していますが、年々ごみを埋め立てる場所がなくなり、満杯に近づいています。

ごみを燃やす施設は古くなってきた…



ごみを埋める場所は満杯に近づいている…

そこで

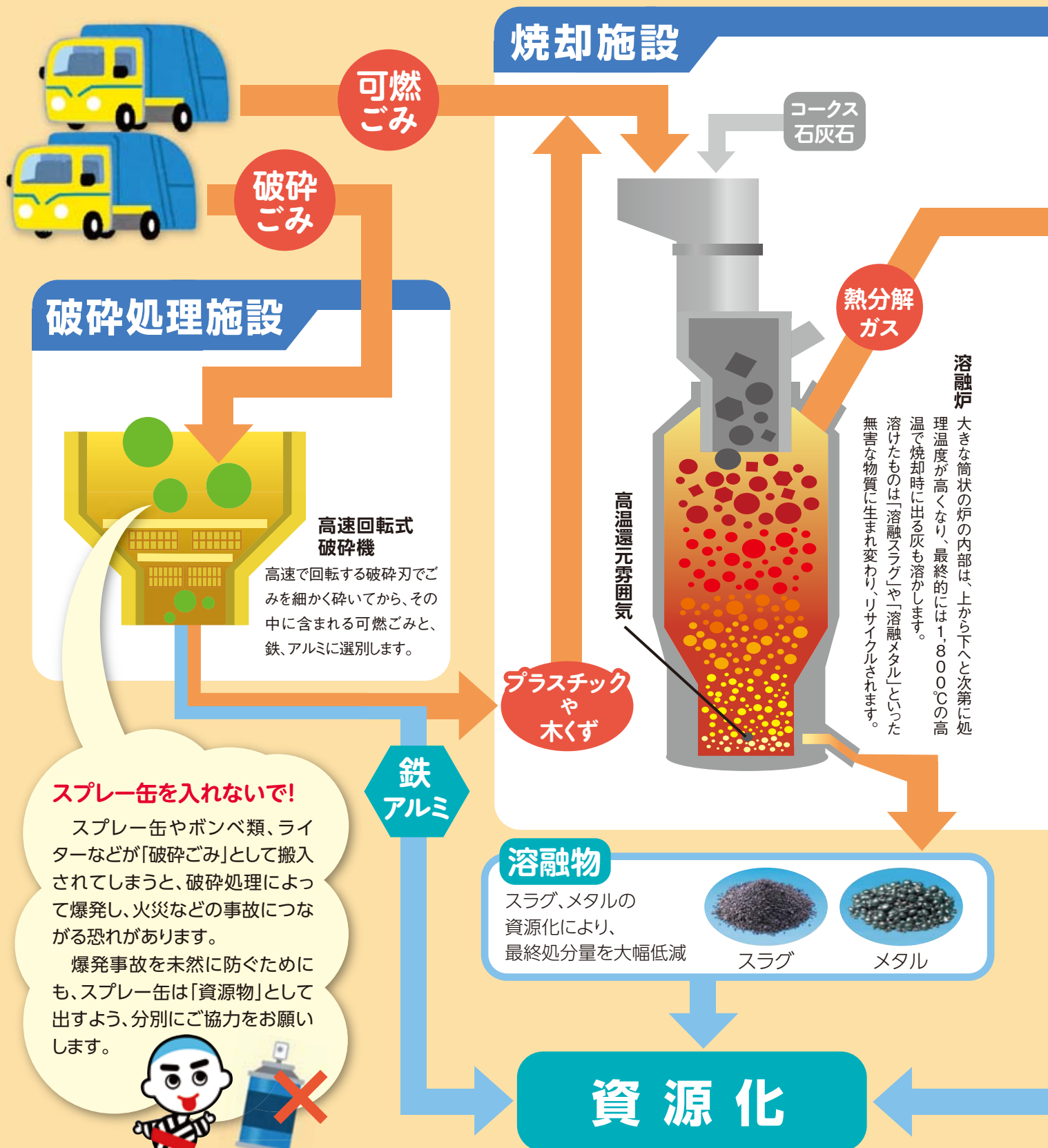
市では、新たな処理方法を取り入れた「**新総合ごみ処理施設**」の整備を進めてきました。この施設は、平成28年4月から**四日市市クリーンセンター**として運用を始めます。安全・安心を第一とし、環境負荷が最小となる施設を目指しています。

また、単にごみを処理するだけの施設ではなく、ごみ発電によるエネルギーの活用や、資源の再利用を行い、循環型社会の形成に貢献します。

施設概要

所在地	四日市市垂坂町地内		
敷地面積	約12ヘクタール(北部清掃工場の敷地を含む)		
主要施設	焼却施設	処理対象	可燃ごみ(廃プラスチック含む)、可燃性粗大ごみ
		処理能力	336トン/日(112トン/日×3炉)
		処理方式	ガス化熔融炉(シャフト式) ※高温で、ごみを溶かして処理します。 処理後に残った「スラグ」や「メタル」と呼ばれる物質は、資源としてリサイクルされます
		余熱利用	蒸気タービン発電機 9,000kW ※ごみを燃やした熱を利用し、発電します
	破碎処理施設	処理対象	破碎ごみ、不燃性粗大ごみ
		処理能力	32トン/日
		処理方式	高速回転破碎、粒度・磁力・アルミ選別
管理棟	主要諸室	事務室、会議室、多目的ルームほか	

ごみを高温でガス化・溶融、焼却熱で発電。
不燃ごみ・粗大ごみは破碎処理。
資源化で最終処分量を大幅に低減。

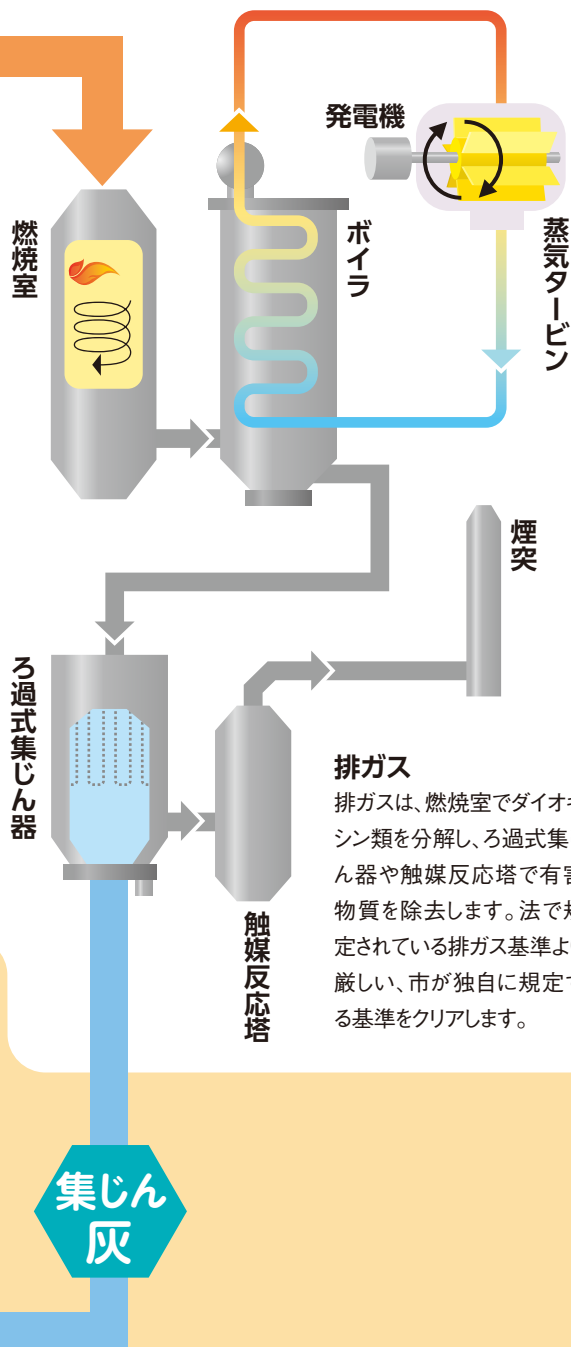




売電できる電力は、一般家庭でいうと、約9,000世帯分になるよん!

熱で発電し、売電も

ごみを燃やした熱をボイラで回収して蒸気タービンを回し、発電します。施設内の電力は発電ですべて賄うとともに、余った電力は電力会社へ売電します。



付帯施設

環境学習に活用できます



見学用コーナー

伝え聞くだけでは分からない、ごみ処理の現場を間近に見ることができます。



多目的ルーム (管理棟3階)

循環型社会の形成に貢献する本施設の概要を映像で分かりやすく学習できます。

分別することは、運営コストを下げることにもつながります

新日鉄住金エンジニアリング株式会社
四日市市新総合ごみ処理施設建設工事
四日市作業所
作業所長 喜多 徹さん



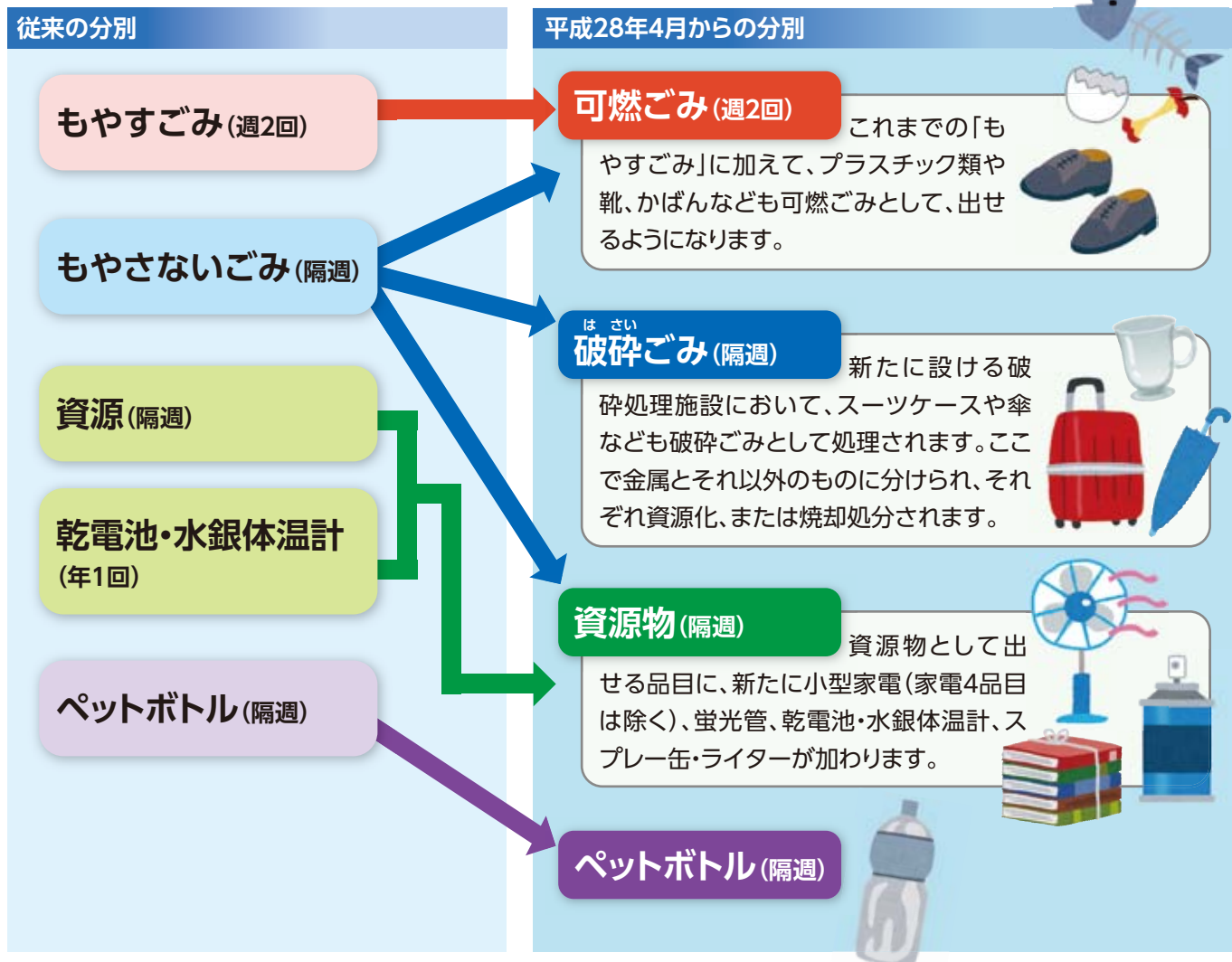
ごみ処理施設のように、建物の中に機械がたくさん入っている施設は、他にあまりありません。四日市市クリーンセンターも、シンプルでコンパクトな建物の中に、最新の熔融炉などたくさんの機械が入るように、またそれらの機械がうまく操業できるようにと設計し、工事を進めています。

四日市市クリーンセンターは稼働しますが、ごみを減らしてもらったり、分別してもらったりすると、施設への負担も減り、運営コストを下げることにもつながります。

ごみ処理施設の建設は終わりますが、施設としてのスタートはこれからです。スムーズに立ち上げができるように、また、施設の維持・運営・管理がスムーズにできるようにサポートしていきたいと思っています。

ごみの出し方が 変わります

● ごみの分別、呼び名の変更 ●



● ごみの収集日程の変更 ●

ごみの収集の日程が同一地区内で統一されます。

これまでは同じ地区内でも町や自治会によって異なる収集日程となっている地域がありましたが、平成28年4月からは、同じ地区であれば町や自治会を問わず、同じ収集日程となります。



新しいごみの分別について、詳しくは
広報よっかいち2月上旬号(本号)と同時配布された
新しい「ごみガイドブック」および「ごみ収集日程表」をご覧ください。



新しいごみ処理の
説明会

新しいごみの出し方 Q&A

各自治会では新しいごみ処理に関する説明会が開かれています。そこでよく出る疑問について、お答えします。



プラスチック類と生ごみは、同じ袋に入れていいの？

プラスチック類と生ごみは**すべて同じ袋に入れて出せます**。新しい施設では、プラスチック類や靴、かばんなど[Lサイズ(45ℓ)の袋に入るもの]も焼却処理できるようになります。



資源物はそれぞれ分けて出さないといけないの？

資源物はリサイクルを目的として収集するため、**品目ごとに分けて出してください**。



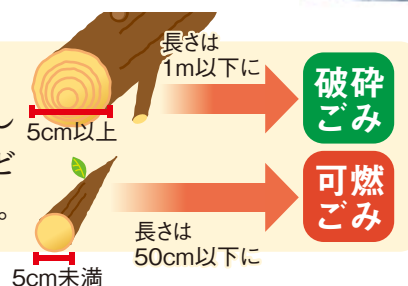
資源物に加わった小型家電ってどんなもの？

電気のコードがついているものや、電池で動くものが対象になります。炊飯器や扇風機、パソコン、携帯電話など、電気で動くものは小型家電の対象です。ただし、テレビ、エアコン、洗濯機、冷蔵庫などの家電4品目は、市では回収できません。



^{せん} 剪定した木の枝は可燃ごみ？ 破碎ごみ？

太さが5cm以上あるものは、長さを1m以下に切るなどして「破碎ごみ」に。太さが5cm未満の細い枝や葉っぱなどは、50cm以下に切って「可燃ごみ」として出してください。



ごみ出しのポイント

- 決められた日の決められた時間までに、決められたものを、決められた場所に出す
- 1m以上あるものは、原形のままで集積場に出さない

ごみの分別などが変わり、初めは混乱などが予想されますので、ご協力をお願いします。



このような **基本的なごみ出しのルールなどは変わりません**。

四日市市クリーンセンターは、廃プラスチックも「可燃ごみ」として処理ができる施設ですが、ごみの分別は必要です。大切な資源をしっかりとリサイクルしていくことも重要ですが、最も大切なのは、日頃からごみを減らす努力をすることです。

買い物の際はエコバッグを持参する、過剰な包装を断るなど、できることから始めてみませんか。

編集後記

ごみを減らすためには、市民の皆さん一人ひとりの協力が必要不可欠です。リデュース(ごみになるものを減らす)、リユース(使えるものは繰り返し使う)、リサイクル(資源として生まれ変わる)という3Rの行動を心掛け、みんなで環境に優しい四日市を作っていきましょう。(生活環境課 小林、新ごみ処理施設整備課 大澤、広報広聴課 服部)

●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は

生活環境課 ☎354-8192 FAX 354-4412

新ごみ処理施設整備課 ☎354-8333 FAX 354-4412

広報広聴課 ☎354-8244 FAX 354-3974